

参加無料  
要事前申込

2022年3月5日(土)  
Ⅲ会場Ⅲ 仙台国際センター

展示棟展示室 3-B  
オンライン同時配信

# 海溝型地震研究の発展と 将来への備え

東日本大震災以降の海溝型地震研究の最前線をご紹介し、今後の大地震・大津波のリスクについて理解を深め、経験と教訓を踏まえて行われてきた各地の取り組みをご紹介しながら、まちづくり・災害医療・防災教育の専門家と地域防災力を高めていく方法を探ります。

13:00 開会の挨拶

東北大学災害科学国際研究所 所長 今村 文彦

総合司会：藤井 進 准教授 (災害医療情報学分野)

13:05  
第1部 海溝型地震研究の最前線

## 基調講演

高橋 浩晃 教授 (北海道大学大学院理学研究院)  
「千島海溝の超巨大地震の切迫性とリスク評価」  
松澤 暢 教授 (東北大学大学院理学研究科)  
「2011年東北地方太平洋沖地震後の海溝型地震研究の  
現状と臨時情報」

## トークセッション

モデレーター：木戸 元之 教授 (海域地震学研究分野)

14:50  
第2部 巨大地震・巨大津波に備える  
～東日本大震災の教訓をともに～

## 趣旨説明

平野 勝也 准教授 (空間デザイン戦略研究分野)

## 話題提供

佐藤 健 教授 (防災教育実践学分野)  
有働 恵子 准教授 (災害ジオインフォマティクス研究分野)  
佐々木 宏之 准教授 (災害医療国際協力学分野)  
姥浦 道生 教授 (空間デザイン戦略研究分野)

15:55 閉会の挨拶

東北大学災害科学国際研究所 副所長 丸谷 浩明

## 参加申し込み方法

お申し込み締切：2022年3月3日(水) 13:00 必着

電話・Fax・メール・ウェブフォームのいずれかでお申込みください。  
お名前(ふりがな) / ご所属またはご職業 / メールアドレス / ご連絡先電話番号 / 来場して参加 または  
オンラインで参加 / オンライン配信のみとなった場合の参加の可・不可 をお知らせください。

・ウェブフォーム：<https://forms.gle/rrVwrHkF1cjG824g7> ・Tel: 022-752-2049 ・Fax: 022-752-2013  
・Email: [memorial@irides.tohoku.ac.jp](mailto:memorial@irides.tohoku.ac.jp)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場は最大96席とさせていただきます。状況により、オンライン配信のみに変更することが  
ございます。また、来場してご参加の場合は、仙台市サイトでの事前来場登録へもご協力をお願いします。

仙台防災未来フォーラム事前来場登録：<https://sendai-resilience.jp/mirai-forum2022/registration.html>



2022年 3月5日(土)

|| 会場 || 仙台国際センター

13:00 開会の挨拶

東北大学災害科学国際研究所 所長 今村 文彦

総合司会：藤井 進 准教授（災害医学研究部門 災害医療情報学分野）

13:05 第1部 海溝型地震研究の最前線

基調講演 1.

「千島海溝の超巨大地震の切迫性とリスク評価」

高橋 浩晃 教授（北海道大学大学院理学研究院附属 地震火山研究観測センター）

基調講演 2.

「2011年東北地方太平洋沖地震後の海溝型地震研究の現状と臨時情報」

松澤 暢 教授（東北大学大学院理学研究科附属 地震・噴火予知研究観測センター）

トークセッション

木戸元之 教授（災害評価・低減研究部門 海域地震学研究分野）を聞き手として、会場やウェブなどからの質問を交えつつ、海溝型地震のメカニズムから地震リスク評価への流れの理解を深めていきます。

14:40

休 憩

14:50 第2部

巨大地震・巨大津波に備える  
～東日本大震災の教訓をともに～

趣旨説明

平野 勝也 准教授（災害人文社会研究部門 空間デザイン戦略研究分野）

話題提供

予防（ソフト）の視点：

佐藤 健 教授（防災実践推進部門 防災教育実践学分野）

予防（ハード）の視点：

有働 恵子 准教授（災害評価・低減研究部門 災害ジオインフォマティクス研究分野）

応急対応の視点：

佐々木 宏之 准教授（災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野）

復旧復興の視点：

姥浦 道生 教授（災害人文社会研究部門 空間デザイン戦略研究分野）

15:55 閉会の挨拶

東北大学災害科学国際研究所 副所長 丸谷 浩明